

大谷學報

第五十一卷 第二号

昭和四十六年十一月十日発行

浄土の讃歌……………	寺川 俊昭 (1)
——讃阿弥陀仏偈和讃覚書——	
Coleridge の想像力と空想との區別 に与えた Jean Paul Richter の 影響について……………	山下 登 (19)
ミレトスのアナクシマンドロス……………	箕浦 恵了 (39)
——その断片 DK. 12 B1 について——	
般若中観への道(上)……………	小川 一乘 (61)
——「入中論」第六章の試訳 [1]——	
昭和四十五年 特別研究生・研究員研究発表要旨……………	(79)
安井広度先生を偲ぶ……………	稲葉 秀賢 (111)
安井先生を憶う……………	(112)
正親含英先生を偲ぶ……………	名畑 応順 (116)
正親兄の思い出……………	(117)
中島万次郎先生を偲ぶ……………	外村 完二 (121)
中島万次郎先生を偲ぶ……………	(122)
曾我量深先生を偲ぶ……………	(125)
曾我先生のこと……………	西谷 啓治 (126)
曾我量深先生を追憶して……………	松原 祐善 (129)
彙報……………	(134)

大 谷 大 学

大 谷 学 会

大谷大学研究年報 第二十三集

治病方としての天台止観……………安藤 俊雄

——智顛の医学思想序説——

顕真實信の論理……………白井 元成

サツルースティウス『カティリーナ

陰謀記』……………水野 有庸

——古典ラテン語散文による歴史文学の起源——

日本仏教における社会的実践の系譜……………名畑 崇

——菩薩戒の受容とその展開過程——

大谷大学研究年報 第二十二集

清沢満之の「精神」について……………寺川 俊昭

無の問題……………暁鳥 哲夫

——現実性と身体的なもの——

梵網経研究序説……………白土 わか

「沙石集」の構成と説話……………片岡 了

THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

CONTENTS

Articles :

- Hymns in Praise of Pure Land
—A memorandum on Shinran's Verses based upon
T'an-luan's *Hymns in Praise of Amida Buddha*—
..... *Shunshō Terakawa* (1)
- The Influence of Jean Paul Richter upon S. T.
Coleridge's Theory of Imagination and Fancy
..... *Noboru Yamashita* (19)
- Anaximandros of Miletos
—On his *Fragment* DK. 12 B1—
..... *Eryō Minoura* (39)
- A Translation of Candrakīrti's *Madhyamakāvatāra*
Chap. VI
—According to the Commentaries by Jayānanda and
Tsoñ kha pa —Part I
..... *Ichijō Ogawa* (61)

-
- Resumés** of the Results of Study made by Student
Scholars for 1970..... (79)

Obituaries:

- In Memory of Emeritus Prof. Kōdo Yasui (111)
- In Memory of Emeritus Prof. Ganei Ōgi (116)
- In Memory of Emeritus Prof. Manjirō Nakajima (121)
- In Memory of Emeritus Prof. Ryōjin Soga (125)

Reports :

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY
OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN

大谷学会規程

第一条 大谷大学に大谷学会を置く。

第二条 本会は眞宗学・仏教学・哲学・史学・文学並びにこれに関連する學術の研究と、その発表をおこなうことを目的とする。

第三条 本会は前条の目的を達成するため、左の事業をおこなう。

- 一、季刊「大谷学報」の発行
- 二、「大谷大学研究年報」の発行
- 三、研究会及び公開講演会の開催
- 四、その他必要な事業

第四条 本会は大谷大学大学院・文学部並びに短期大学のすべての教育職員及び学生をもって会員とする。

2、前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認されたものは、会員となることができる。

第五条 本会に左の役員を置く。

- 一、会 長
- 二、委 員

第六条 会長には大谷大学学長が当り、

会務を統理する。

第七条 委員は十名とし、教授会において互選する。

2、委員は企画・編集・出版等の会務を掌理する。

3、委員の任期は二年とする。但し、再任をさまたげない。

第八条 会員は、本会の出版物にその研究を発表し、「大谷学報」並びに「大谷大学研究年報」の配布を受け本会主催の会合に出席することができる。

第九条 会員の会費は年額金壹千円とする。

第一〇条 会員の経費は会費をもってこれに当てる。

2、本会の必要経費については、助成金を受けることができる。

第一一条 本会の事務は、教務課の所管とする。

第一二条 この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。

附則 この規程は昭和三十七年四月

一日から施行する。

2、昭和二十七年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

大谷学会役員

委員

岩見 至	太田 祐周
大屋 憲一	柏原 祐泉
日下部有信	栗原 行信
高橋 憲昭	幡谷 明
藤原 幸章	山本 唯一

昭和四十六年十一月十日発行

大谷学会代表者

編集兼 坂 本 弘
発行者

印刷者 西村 七兵衛

京都市北区小山上総町
大谷大学内

発行所 大谷学会